

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 1 1 月号

2025.11

1. はじめに

立冬が過ぎ、まだ実感は湧きませんが暦の上では冬となりました。1年生は「進路講演会」、2年生は「修学旅行」が終了したことで、来年度に向けて気持ちを新たにしているのではないのでしょうか。3年生は9月の電子化された共通テスト出願も、大きなトラブルはなく、受験票がダウンロードができる時期を待つだけとなりました。授業は、最後の追い込みに全力を注いでます。

この時期になると、各学年とも感染症の影響が心配されます。インフルエンザの予防接種など、用意周到に危機管理にご留意いただき、万全の体制でお子様をご指導いただきますよう、お願い申し上げます。

2. 2026年度入試の動き（主に3年生向け）

新課程だった2025年度入試を振り返ると、ご存じの通り共通テストで国語と数学で試験時間が増加し、地歴公民の科目構成が変わり、新教科の「情報Ⅰ」が追加されるなど大きな変更がありました。しかし、出題構成や問題形式は事前に公表された傾向を踏襲しており、対策は行いやすかったようで、高い全国平均点となりました。

2026年度入試は、平均点が高かった昨年度の反動で、共通テストの平均点が下がると予想されていますが、普段の学習に関しては、周囲の情報に惑わされたり動揺することなく、自分を信じて日々学力向上に励むことが何よりも重要です。

首都圏の私立大の主な動きは、立教大が環境学部、学習院大は国際文化交流学部（学習院女子大を統合）、東京理科大の創域情報学部の新設などが挙げられます。近隣の国公立大の変更点は、宇大の農学部が改組する程度で今年度は少なめですが、入試や学部の改組・変更は毎年少しずつ行なわれます。アンテナを常に高くする必要があります。

例年、秋から冬にかけて、模擬試験や共通テストの成績を見て、国立大から公立大・私立大に第1志望を変える受験生が一定数います。昨年度から情報Ⅰが加わったことで、その傾向に拍車がかかりそうですが、逆を言えば、「情報Ⅰ」を含めた6教科8科目をしっかり学習している受験生にとっては競争の緩和が予想され、チャンスが生まれると考えられます。

3. 来年度を見据えて（主に1, 2年生向け）

「志望理由書」が冬季休業中の課題として1, 2年生全員に課されます。将来を見据えた進路について、ご家族で話し合っていただく良い機会として頂きたいと思います。入試制度も入学定員も年々変化し、情報化や少子高齢化に合わせた大学改革が急ピッチで行われています。大学案内やHPを熟読し、将来の生き方について、成績表も参考にしながらよく話し合ってください。保護者の皆様の時代に比べ、受験システムが大きく変化しております。改めて募集要項等をご覧いただきたいと思います。

希望調査や各種アンケートがWeb化されているように、**校内外で業務のDX化**が進んでいます。共通テストは今年度から出願作業が、昨年度から自己採点がオンライン化されました。校外模試では河合塾が1月から、「解答解説冊子」や「個人成績表」がデジタル化されます。デジタル化は省スペース化が実現するなど便利な面もありますが、学習においては「記述力・記憶力」や「粘り強く考え抜く力」の衰えにつながります。重要な部分は「スクショ→印刷」してノートに貼り付け、反復学習につなげるなど、デジタル・アナログ双方の利点を生かした学習を工夫し、実力アップにつなげることが何よりも重要です。

4. 3年生のこの時期

共通テストまであと80日を切り、授業は共通テスト演習が中心となっています。思うように結果が出ず、焦っている生徒も出ていることと思いますが、**本校生はここからが正念場です**。部活動加入率の高い本校生は、スタートが他校生より幾分遅めです。その分、成績の伸びも少し遅れてやってきます。そろそろ成果が現れ始める時期ですが、個人差も大きいので、各自の取り組み方や生活のリズムによって効果の現れ方が異なります。**同級生の成績に焦ったり、動揺したりせず**、自分のペースで自信を持って臨んで欲しいと思います。

そして何よりも大切なのが、家族の協力です。入試制度の改革が進み、大きく変化しているため、これまでの世代の入試とはひと味もふた味も違う受験が増えてきています。

生徒達には毎月末の進路講話で、その月に応じた話題を提供することを心掛けています。何事も、「疑問点はそのままにしておかず、必ず確認するように」と伝えております。ご家族の皆様も遠慮なさらずに学校におたずねください。学校側も全力で支援してまいります。

5. 2年生のこの時期

11月に初めて5教科型模擬テストを受験しました。その結果が12月上旬には出てくるかと思っています。2年生にとっては、「いよいよ受験生になる」という心構えが求められる試験でした。

中学校の延長線上にあった、「少し頑張れば何とかなる」という考え方が当てはまらない、**厳しい世界だと初めて感じた**ことでしょう。目先の努力では太刀打ちできない、長距離競走であることが認識できたはずです。「文武両道」は、簡単ではありません。

これからは、**毎日の学習時間も5教科分を確保しながら、次の日の予習復習も行い、部活動も下級生を引っ張っていく**という、至難の業が求められる期間が長く続きます。悩むことも多くなるでしょうが、やるべき事柄の優先順位を決め、たまには息抜きしながら、**長く続けられるコツを掴んでいつか欲しい時期**でもあります。

保護者の皆様も、お子様の様子をよくご覧いただき、将来の方向性について、お話しいただければと思います。3年次のコース選択によっては、受験できる範囲も変わってきます。学問系統の選び方によっては準備の仕方も少しずつ変わってきます。納得のいく進路選択のためにも、十分に時間を取ってお話し合ってください。

6. 1年生のこの時期

高校生活に慣れ、部活動や定期試験にも慣れてきた頃かと思っています。いつ、どんな準備が必要なのかを理解できたと思います。生徒達には、R-P-D-C-Aサイクルについて学年主任から説明があったと思います。各自が目標を持って計画的に学習することを期待します。

全国の高校生との競争は、もう始まっています。大学見学やオープンキャンパスは、冬季や春季にも行われています。大学のホームページを調べたり、同じ学部を持つ他の大学を調べたり、大学に関する**情報を幅広く収集する時期**です。少ない知識で、知っている大学だけの情報を集めるのでは、選択の幅が広がりません。そして、大学の面接試験の時にも、しっかりとした答えが準備できません。**その大学に行く行かないにかかわらず、大学の特色を理解し、違いを確かめるためにも、多くの大学の情報を集めましょう**。

2学期はどうしても学力差が開いてしまう時期とも重なり、学習方法や生活習慣のことなど、悩みはつきないと思います。そんなときは担任に自主的に相談に行くよう、保護者の皆様からもアドバイス頂ければ幸いです。

7. 最後に

10月のPTA学年部会の保護者アンケートの結果を読ませていただいております。多くの生徒にとって、最もよい効果の出る方向性を常に検討しながら、本校生の輝かしい未来につながる指導を目指して参ります。生徒一人ひとりが少しでも夢の実現に近づけるよう、教職員一同で支えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

進路指導部